

ブレイン・ロボット・ インタフェースの研究

研究分野

計算論的神経科学、認知神経科学、生体情報工学

研究内容

神経科学の基礎研究に基づき、脳活動を抽出する方法を開発します。その知見に基づき、脳とロボットを繋ぐインタフェースの開発を目指しています。

私達の研究のポイント

脳活動によって情報・通信・機械装置を直接制御するインタフェース（Brain-Machine Interface）を開発することは、リハビリテーションやエンターテイメント、ロボット製品への応用など、様々な分野へ広がる可能性を秘めています。



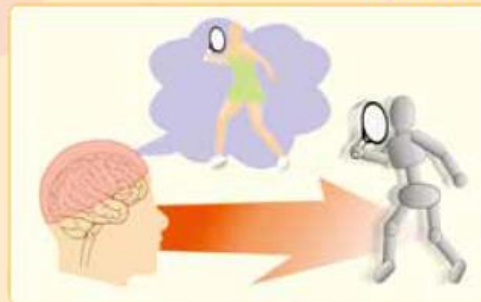
知的インタフェース工学講座
特任教授 川人 光男



知的インタフェース工学講座
講師 森重 健一

REPORT レポート

応用分野



- | | |
|---|---|
| <p>(1) 計測装置
医療用・脳研究用の脳活動計測装置</p> <p>(2) リハビリテーション
脳機能モニター装置</p> <p>(3) エンターテイメント
映像操作アプリケーション</p> | <p>(4) ロボット製品
ロボット操作におけるブレインマシンインタフェース</p> <p>(5) その他の可能性
文字入力装置・パワースーツなど</p> |
|---|---|